



東京経済大学ニュース

Vol.15

東京経済大学 Web サイト: <https://www.tku.ac.jp/>

Contents

特集 1

東京経済大学 創立 120 周年記念事業

研究会開催報告

～第 5 回「21 世紀の多摩学」 多摩地域の工業～国際化との狭間で～

特集 2

東京経済大学 現代法学部

～開設 20 周年を迎えて～

東経大インフォメーション

Information 1 東京経済大学 学術研究センター 国際シンポジウム

「価値連鎖戦略と IoT」を 2019 年 9 月に開催

Information 2 グローバルラウンジ「コトパティオ」

高校生を対象とした体験会を 8 月に開催

Information 3 東京経済大学オープンキャンパス 2019 開催

体験授業やゼミ発表会のほか、AR(拡張現実)の企画も用意

Information 4 通算 8 回目の図書館イベント「ビブリアバトル」開催

お薦めの 1 冊をプレゼンする熱き戦い



特集 1

東京経済大学 創立 120 周年記念事業 研究会開催報告 ～第 5 回「21 世紀の多摩学」多摩地域の工業～国際化との狭間で～ 第 6 回研究会を 8 月 7 日(水)に開催予定

東京経済大学創立 120 周年記念事業のひとつ「環境と地域にかかわる産官学民連携による共同研究」は特別授業、シンポジウム、記念出版として企画され、2019 年 7 月 5 日(金)・国分寺市立 cocobunji プラザにて、「多摩地域の工業～国際化との狭間で」をテーマとした第 5 回・「21 世紀の多摩学」研究会を開催しました。

本学国分寺キャンパスは、東京の緑の回廊とも言われる「国分寺崖線」と東京の名湧水 57 選の一つである「新次郎池」を有し他の大学にはない、非常にユニークな特徴を持っています。

創立 110 周年(2010 年)には「エコキャンパス宣言」を行い、自然環境との共生および環境負荷の低減、持続可能な社会への貢献を目標に掲げ、本学の社会に対する責務を明確にしました。それを踏まえた今回の創立 120 周年記念事業においては、本学のホームグラウンドである多摩地域を拠点に、地域経済やまちづくり、環境、農業、市民生活、福祉等の課題を明らかにし、本学の今後のあり方を掘り下げていく共同研究に取り組むこととなりました。これらの企画を通して、多摩地域の活性化に貢献していければと考えた次第です。

多摩地域の過去・現在を解剖し未来を構想する、実践的な研究「多摩学」

研究会企画は、1980 年代末から 1990 年代初めにかけて、本学教員が主体となって行った連続講座がベースとなっています。「多摩学」とはさまざまな角度から東京における多摩地域を解説し、広く世の中に問うた研究です(成果は東京経済大学多摩学研究会編「多摩学のすすめ～新しい地域科学の創造」①～③、けやき出版で 1991 年～1996 年にかけて刊行)。

この研究は、都区部と比べ東京都の中で意外と埋もれがちではあるものの、他の衛星都市やベッドタウンのような大都市周辺都市とも明らかに異なる“多摩地域の意義”をクローズアップさせたものです。以後、近隣の大学においても「多摩学」を冠した取り組みが見られており、多摩地域はさまざまな観点から注目されるようになっていきます。

今回の共同研究は、これらの到達点を踏まえ、行政、産業界、市民、在野の研究者を巻き込み、「環境の世紀」(21 世紀)におけるサステナビリティの観点から、多摩地域の過去・現在を解剖し、未来を構想する実践的な研究を目指すものです。

本研究会は、2018 年 6 月の第 1 回「多摩地域の環境～国分寺崖線の構造理解から」を皮切りに、第 2 回「多摩地域の都市開発～再開発とまちづくり」、第 3 回「多摩地域の都市農業～「強い農業」の可能性」、第 4 回「多摩地域の人口構造と住宅事情」と続き、さまざまな断面から多摩を理解する工夫を行っています。

今回は、多摩地域の素材型産業・ものづくり企業に詳しい山本聡東洋大学教授、そして大手企業からスピンアウトして多摩地域で起業されたキーナスデザイン株式会社(エレクトロニクス分野の温調機メーカー。大手自動車部品メーカーへ納入実績有)の橘純一社長をお招きし、開催しました。

多摩地域は、都内の大手企業本社からアクセスが良いわりに土地も得やすく、しかも大学が林立して人材が豊富であることなどを背景として、大小さまざまなハイテク産業(電気機械器具、電子部品・デバイス・電子回路、金属製品等の製造業)の集積が特徴であることが示されました。多摩地域にもともと立地する計測機器、通信機器等の大手企業から、



ベンチャーとしてスピンアウトした企業が多いことは、多摩の工業の活力を示しているともいえます。

今回もまた参加者にとって目から鱗が落ちる学びが得られ、多摩地域を「再発見」する機会になったのではないかと思います。

第6回は、2019年8月7日(水)・国分寺市立 cocobunji プラザにて「多摩地域の交通 ～都市拡大から成熟社会化へ～」をテーマとした研究会を開催します。ぜひご参加ください。

TKU 120

SINCE 1800

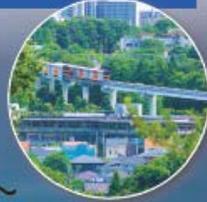
東京経済大学 創立120周年記念事業

多摩地域を 環境、まちづくり、 地域経済等さまざまな 観点から解剖する

「21世紀の多摩学」

1990年代初め、東京経済大学教員が主導してさまざまな角度から東京における多摩地域を解説し、「多摩学」を内外に打ち出しました(東京経済大学多摩学研究会「多摩学のすすめ」(1)~(3)、けやき出版)。
今回の共同研究は、これらの到達点をふまえ、「環境の世紀」におけるサステナビリティの観点から、主として多摩地域の過去・現在を解剖し、未来を構想する実践的な研究をめざします。

第6回 多摩地域の交通 ～都市拡大から成熟社会化へ～



多摩地域はまさに公共交通の敷設・延伸によって都市拡大が牽引されてきた。いま人口減少、高齢化の中で、都市骨格でもある交通は大きな岐路に立たされている。

■日時:

2019年 8月7日(水)

18:00~20:00

■講師:

鈴木 文彦 氏
[交通ジャーナリスト]

青木 亮 氏
[東京経済大学 経営学部教授]

参加無料、定員30人
(申込不要、当日先着)

■ 場所:

国分寺市立cocobunjiプラザ セミナールーム
(国分寺駅北口 cocobunji WEST 5階)

会場へのアクセス
国分寺駅北口コンコースに隣接
エスカレーターで5Fへ






鈴木 文彦 (すずき ぶんひこ)

東北大学卒、東京経済大学大学院で地理学を専攻。以後フリーの交通ジャーナリストとしてバス、地方鉄道に関する執筆を行う傍ら、地産交通政策のアドバイザーや講演活動も行う。主な著書に『日本のバス』『東日本大震災と公共交通』『所説バス60年のあゆみ』など。

青木 亮 (あおき まこと)

東京経済大学経営学部員。都市交通政策を研究し、大学の授業では「交通論」を担当。国分寺市などで公共交通関係の審議会委員も務める。主な著書に『都市交通の世界史(共著)』、『総合研究 日本のタクシー産業(共著者)』など。

主催・連絡先 東京経済大学 地域連携センター 東京都国分寺市南町1-7-34 東京経済大学
tel. 042-328-7950 Email/crc@s.tku.ac.jp

予告 第7回 多摩地域のごみ処理(予定)
2019年10月2日(水)開催(場所・時間は同)

特集 2

東京経済大学 現代法学部 ～開設 20 周年を迎えて～



東京経済大学 現代法学部
学部長 羽貝正美

どのような 20 年であったか

本年、20 周年の節目を迎える現代法学部は、2000 年の開設以来、消費者、環境、福祉の 3 分野をはじめ、現代社会固有の諸課題を法学教育の生きた教材として学部教育にあたってまいりました。相互に密接に関わる現代の社会的紛争を法的にどう解決すべきか、あるいは、いかなる政策的対応が必要か、学部名に冠した「現代」は、そうした問題意識を表現したものです。

卒業生の選択した世界は民間企業をはじめ、金融、行政、法曹（弁護士）、司法書士、行政書士など多様です。2007 年度開始の「法プロフェッショナルプログラム」の果たした役割にも大きいものがあります。さらに、現代法学研究科が税理士を希望する院生の資格取得に貢献してきたことも、本学部が果たしてきた役割のひとつです。

こうした卒業生の多様な進路は、現代法学部でリーガルマインドを身につけた多くの学生が社会の多方面で活躍し、時に悩みながらも、それぞれに置かれた場所で、現代という社会のありようとあるべき法の姿の両方を視野に入れ、日々力を発揮してくれているということでもあります。

今後の展望

現在は 2015 年のカリキュラム改革を経て総合法、公共政策、ビジネス法、消費者法、環境法、福祉法と 6 つのプログラムを導入して学びの軸足としています。また講義と補完関係にある少人数教育（大学入門、社会・法学入門、基礎演習、ゼミ等）を 1 年次から重視していることも特色のひとつです。

この改革の一環として公務員志望者支援プログラムも導入。公務員試験合格者の漸増傾向に、徐々に定着している様子が伺えます。公務員を志望する学生は潜在的にかなりの数が存在していると思われます。合格した学生自身の「勉強すれば十分に手の届く目標」という実感を現役の学生に伝えてゆくことによって、間違いのない準備の仕方をしてほしいと願っております。

とはいえ、大学の教育方針を高校生に伝わるコピーにした「考え抜く実学」の言葉のとおり、大学は単に合格のため



の受験ノウハウを身に付けたり、内定の獲得に向かってひたすら走るための場所ではないことを学生自身が認識することが重要です。企業であれ行政であれ、自分が進みたいと思う世界がどのような世界なのか、いかなる社会的ミッションを担っているのか。現代法学部の役割は、ここに学ぶすべての学生に、そのことを正課の講義・演習を通して徹底的に深めてもらうことにあります。

次の10年、20年先を展望するとき、正課の深い学びと進路選択に資する学びがうまく噛み合っ、これまでと同様、あるいはそれ以上によく考え、行動・発揮する地力を身につけ、他者を思いやる気持ちをもって社会に貢献できる学生を輩出している、そうした学部でありたいと願っています。



現代法学部の授業風景

20周年記念行事について

本年11月16日(土)午後、本学「大倉喜八郎 進一層館」ならびに「葵陵会館」にて、現代法学部開設20周年記念式典とパーティーを開催いたします。教職員や卒業生をまじえ、共にこの20年を振り返り、これからのさらなる発展を展望する節目の機会にしたいと考えています。

式典では「現代法学部、創成のころを想う」と題する島田和夫本学名誉教授の記念講演も予定しています。また、秋の式典に先立ち、20周年記念行事委員長・藤原修教授のリーダーシップのもと、現代法学部の歩みと絆をテーマとして、卒業生24名の寄稿による記念誌を編集しています。

それぞれの文章は、どんな4年間であったかという在学中の思い出のみならず、卒業後に就いた仕事のやりがいや喜び、また苦勞を綴ったものです。現代法学部がどのような学生を育み、また彼らが実社会にどう寄与しているか、この記念誌はそのことをよく語っています。

変化の大きいこの時代、転職したり、思うように自分の人生を切り拓いたりすることができず苦勞している卒業生がいることも容易に想像できます。そうした卒業生の存在を決して忘れることなく、記念誌に込められた思いをすべての卒業生、現役の学生、教職員で共有し、現代法学部のさらなる発展の糧にしたいと思っています。

一人ひとりが自ら学ぼうとする意欲と共に、誇りと自信を持って社会に巣立っていけるようにすること。教職員としてこのことを肝に銘じ、彼ら学生の日々の学びを後押ししながら、私たちもまた建学の理念である「進一層」の気概をもって進んでまいりたいと思います。

東京経済大学現代法学部20周年記念

絆と歩み

卒業生だより



東経大インフォメーション

Information 1

東京経済大学 学術研究センター 国際シンポジウム

「価値連鎖戦略と IoT」を 2019 年 9 月に開催

東京経済大学学術研究センターの活動として、国際シンポジウムを開催します。事前予約は不要、どなたでも無料で聴講可能です。ぜひご参加ください。

AI/IoT 等の新技術を活用して製造の効率化、自動化、知能化を実現することが国際競争下の製造業にとって重要なテーマとなっています。本企画では、この分野の専門研究者を海外から招聘し、国内の実務第一人者の講演を交え、テーマについて議論します。

なお、この国際シンポジウムは、東京経済大学学術研究センターとオペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会(JOMSA)の共催となります。

国際シンポジウム「価値連鎖戦略と IoT」	
日 程	2019 年 9 月 5 日(木)
時 間	9:20~17:00(9:10 開場)
会 場	東京経済大学 国分寺キャンパス 大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール) (国分寺市南町 1-7-34)
申し込み	事前申込不要。どなたでも無料で聴講できます。
お問い合わせ	実行委員長:佐藤 修(東京経済大学 経営学部教授) E-mail: osamsato@tku.ac.jp

タイムスケジュール(※日英・英日同時通訳があります)

- 9:20~9:40 開会挨拶
- 9:40~10:30 基調講演
「デジタル経済の価値創造 3つのビジネスモデル」
ヨンジン・ヨー博士(ケース・ウェスタン・リザーブ大学)
- 10:40~11:30 特別講演
「外資系企業の国内工場供給基盤について
~異なる環境条件での成果への影響~」
プラカッシュ・シン博士(メルボルン大学)
- 13:00~13:50 特別講演
「戦略マネジメント、デザイン思考、オペレーション・マネジメント」
北中英明氏(拓殖大学)
- 14:00~14:50 特別講演
「IoT/AIにより起動した新産業革命が実現するスマート製造の現状と波及効果」
安井公治氏(三菱電機)
- 15:00~17:00 特別セッション「IoTと製造」
司会:天坂格郎氏(青山学院大学 名誉教授)
藤岡昌則氏(三菱日立パワーシステムズ)/清水目勉氏(富士ゼロックス)



ヨンジン・ヨー博士



プラカッシュ・シン博士

Information 2

グローバルラウンジ「コトパティオ」

高校生を対象とした体験会を 8 月に開催

2019 年 8 月 20 日(火)・21 日(水)、高校生を対象にしたグローバルラウンジ「コトパティオ」体験会を実施します。

「コトパティオ」は、異文化を学ぶための参加体験型学習スペースで、英語のネイティブ講師とのフリートークやアクティビティ、プレゼンテーションの練習など、様々なイベントを開催しています。この場所では英語をはじめとした、さまざまな外国語で他者との交流が可能です。

当日は自己紹介からスタートし、ゲームなどのアイスブレイクを行ってからネイティブ講師や同年代の仲間と英語での会話を楽しんでいただきます。

お申込みは事前予約制で、各セッション最大 10 名までご参加いただくことができます(1 セッション 30 分間)。お申し込み時に、セッション I (10:15~10:45)、セッション II (11:00~11:30)、セッション III (11:45~12:15) のいずれかを選択してください。高校生の皆さんのご参加をお待ちしています。

グローバルラウンジ コトパティオ
Global Lounge Cotopatio
東経大の異文化コミュニケーションラウンジ

TKU
グローバルラウンジ
コトパティオを体験して
みませんか。

8/20(火) 8/21(水)

★セッション I 10:15-10:45
★セッション II 11:00-11:30
★セッション III 11:45-12:15

完全予約制
各会最大 10 人
(募集時期 7/18 木-8/13 火)

6 号館 2 階
正門から入って真直前にある水色の建物

Geoff (アメリカ合衆国ニューヨーク州出身)
My name is Geoff Hash, and I'm the Global Lounge Coordinator. I was born in the USA, and before coming to Japan, I lived in New York City, where I worked with the subway company by day and was a musician by night. I love music, sports, science, and EATING! Please come over sometime, say hello, and tell me what kinds of things you like!

Chris (アメリカ合衆国ニュージャージー州出身)
Hello! I'm Chris Misuro, an instructor at Cotopatio. I'm from New Jersey in the United States. New Jersey is famous for music, tomatoes, and the Jersey Devil. I love many things about Japan including the food! Please come and ask me about the Jersey Devil at Cotopatio.

Joel (イギリス湖東地方出身)
Hello, my name is Joel Tomlinson, and I am an instructor at Cotopatio. I'm from the Lake District in the UK, which is famous for its countryside and Peter Rabbit. Among other things, I enjoy playing and watching sports and making and listening to music. How about you? Drop by and let me know.



ゲームや会話を楽しみながら、英語によるコミュニケーションを体験することができる「コトパティオ」の様子

グローバルラウンジ「コトパティオ」体験会	
日程	2019 年 8 月 20 日(火)・21 日(水)
時間	10:15~10:45(セッション I)・11:00~11:30(セッション II) 11:45~12:15(セッション III) ※セッション I ~ III のいずれかをお選びください。
会場	東京経済大学 国分寺キャンパス 6 号館 2 階 (国分寺市南町 1-7-34)
申し込み	完全予約制となります。本学ホームページよりお申し込みください。 申し込み締め切り: 8 月 13 日(火) 東京経済大学 Web サイト: https://www.tku.ac.jp/
お問い合わせ	東京経済大学 国際交流課 TEL: 042-328-7728



Information 3

東京経済大学オープンキャンパス 2019 開催

体験授業やゼミ発表会のほか、AR（拡張現実）の企画も用意

2019年8月1日（木）、2日（金）、24日（土）、25日（日）の4日間、オープンキャンパス（要予約）を実施します。4学部1プログラムのガイダンスや体験授業、ゼミ発表会、保護者向けガイダンス、気軽に英会話が楽しめるグローバルラウンジ「コトパティオ」体験のほか、今回は初の試みとして、スマートフォンをかざすと現実の風景に情報を重ね合わせて表示されるARの企画も用意しています。予約制となっておりますので、事前にお申し込みいただき、ご来場ください。

今年は上記日程に加え11月2日（土）、3日（日）に葵祭（大学祭）と同時開催し、さらに12月8日（日）には入試直前ガイダンスも実施いたします。



東京経済大学 2019 Open Campus 国分寺キャンパス

8/1 木 8/2 金
8/24 土 8/25 日
10:00~15:00 (受付 9:30~14:30)

※本学ウェブサイトから事前予約制です。申込方法や各イベントの開催内容など、詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

【プログラム(予定)】

- 大学紹介
- 学部説明会
- 体験授業
- 入試ガイダンス
- キャンパスツアー
- 個別相談
- クラブ活動紹介
- 学食体験
- 女子カフェ

葵祭(大学祭) 同時開催
11/2 土・3 日

※詳細開催やイベント内容は本学ウェブサイトで開催します!

入試直前ガイダンス
12/8 日

※詳細開催やイベント内容は本学ウェブサイトで開催します!

LINE@ @tokyokeizaiuniv LINEで最新情報配信中!

オープンキャンパス	
日 程	<ul style="list-style-type: none"> ■8月1日(木)、2日(金)、24日(土)、25日(日)※要予約 ■11月2日(土)、3日(日)【葵祭(学園祭)と同時開催】※予約不要 ■12月8日(日) 【入試直前ガイダンス】※予約不要
時 間	10:00~15:00(受付 9:30~14:30)
内容(予定)	大学紹介、学部説明会、体験授業、入試ガイダンス、キャンパスツアー、個別相談、クラブ活動紹介、学食体験、女子カフェなど
会 場	東京経済大学 国分寺キャンパス (国分寺市南町 1-7-34)
申し込み	<p>8月1日(木)、2日(金)、24日(土)、25日(日)は事前予約制となります。申し込み方法や各イベントの開催内容など、詳細は本学 Web サイトをご確認ください。</p> <p>東京経済大学特設 Web サイト: https://www.tku.ac.jp/opencampus/</p>
お問い合わせ	東京経済大学 入試課 TEL:042-328-7747(直通)

Information 4

通算 8 回目の図書館イベント「ビブリオバトル」開催

お薦めの 1 冊をプレゼンする熱き戦い

通算 8 回目となる図書館イベント「ビブリオバトル」を、2019 年 7 月 3 日（水）東京経済大学図書館 1 階ブラウジングスペースで開催しました。

「ビブリオバトル」とは、発表者が選んだ“お薦めの 1 冊”の魅力を 5 分間でプレゼンし、最後に参加者全員で、どの本をいちばん読みたくなったか多数決で決めるという、新しいスタイルの読書会です。

今回は発表者を 1 年生に限定し、教員推薦と一般公募による合計 12 名がエントリーしました。紹介された本のジャンルは多岐に渡り、どの発表もとても魅力的で、参加者はいちばん読みたくなった本の選定にとっても苦慮していました。

投票の結果、発表者を含む参加者全員が選ぶ「チャンプ本*」は、烏田鈴渚さん（コミュニケーション学部 1 年）が紹介した「書を捨てよ、町へ出よう」（寺山修司・作）となりました。烏田さんは「この本を 10 代のうちに読んでほしい。世間の常識を疑い、この世界は何が正しいかを自分に問いかけてほしい」と強く訴えました。また、作品の中の詩の一節を朗読し、多くの参加者の心をつかみました。

*チャンプ本=ビブリオバトルの発表者（バトラー）と観客が一番読みたくなった本



今年の「ビブリオバトル」は「フレッシュャーズ・セミナーa」履修者対抗となり、発表者は 1 年生限定に。魅力的なプレゼンテーションが多く、参加者同士の選考も白熱しました

東京経済大学 総合企画部 広報課

〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34

TEL:042-328-7724 FAX:042-328-7768 Email:pr@s.tku.ac.jp